

平成 24 年度日本医療・ 病院管理学会第 308 会例会 ヨーロッパと日本の交代制勤務 看護師の健康な働き方を考えよう

日時●9月1日(土)
会場●聖路加看護大学(東京都中央区)
定員●100名(当日参加可)
内容●ドイツ・フランス・イギリスの病院で働く看護師の勤務実態に関する調査結果を報告。また、日本で先駆的な取り組みをしている病院の事例も紹介し、看護師の交代制勤務のこれからを考える。
参加費●一般 2000 円、日本医療・病院管理学会会員/大学院生 1000 円、学部生無料(学生証をお持ちください)
問い合わせ●(担当:中村綾子)
名前、所属、連絡先を明記のうえ、E-mail または FAX にて
〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1 聖路加看護大学
TEL 03-5550-2262
FAX 03-5550-2262
E-mail koutaisei@slcn.ac.jp
URL <http://www.slc.ac.jp/>

北海道医療大学看護福祉学部 学会第 9 回学術大会

日時●9月1日(土)
会場●北海道医療大学札幌サテライトキャンパス・ACU(札幌市中央区)
テーマ●看護福祉学部 20 年のあゆみ
プログラム●講演「看護福祉学部の創設を振り返り」中島紀恵子(北海道医療大学名誉教授)/シンポジウム「看護福祉の近未来を読む——創造から跳躍へ」阿保順子(長野県看護大学学長)・石川秀也(北海道医療大学看護福祉学部・臨床福祉学科長)・神田直樹(札幌医科大学附属病院 ICU・急性重症患者看護専門看護師)・川岸正和(特別養護老人ホーム静苑ホーム・生活相談員)/研究発表/懇親会
参加費●会員・非会員ともに 2000 円、学部学生無料、懇親会 3500 円別途、講演のみは無料
問い合わせ●大会実行委員会
FAX 0133-23-1426
E-mail gakkai9kai@hoku-iryo-u.ac.jp
URL <http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~nsgakkai>

日本家族看護学会 第 19 回学術集会

日時●9月8日(土)・9日(日)
会場●学術総合センター(東京都千代田区)
テーマ●家族とレジリエンス
プログラム●会長講演「復興を支える理論——レジリエンスとその周辺」上別府圭子(東京大学)/特別講演「家族レジリエンス(Family Resilience)を強める」中村伸一(日本家族研究・家族療法学会会長)/教育講演「最近の青年期発達の変容と家族のありようをめぐって」牛島定信(三田精神療法研究所所長)/シンポジウム I「東日本大震災を生きる家族の理解」・II「家族研究の方法論」/研究者公開シンポジウム「愛着と喪失 Attachment and Loss をめぐって」東京大学「こころの発達と障害の教育研究コンソーシアム」/テーマセッション/ランチョンセミナー/事例検討(事前申込制)
参加費●(当日)会員 1 万 1000 円、非会員 1 万 2000 円、大学院生 9000 円、学生 5000 円
問い合わせ●事務局(担当:池田真理、佐藤伊織)
〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1 医学部 5 号館 108 東京大学大学院医学系研究科家族看護学分野内
TEL 03-5841-3694
FAX 03-5841-3694
E-mail jarfn19-office@umin.ac.jp
URL <http://jarfn2012.umin.jp>

地域医療安全推進センター主催 セミナー

1. 医療安全トピックス研修 I ——
“Disclosure”における戦略
日時●9月8日(土)
プログラム●医療安全推進と質向上に関連して、近年、国際的にも着目されている課題のひとつに“Disclosure(ディスクロージャー)”がある。“真実の告知”とも言われ、発生したインシデント等をタイムリーに正しく伝えるという意味で使われるが、伝え方、伝える内容・方法などに、さまざまな課題がある。本研修では、ディスクロージャーに関するさまざまな情報を提供し、自施設での展開に関して提案する。
受講料●1 万 3000 円
申込締切●8 月 24 日(金)
定員●80 名

2. 部署リスクマネジャー育成研修

日時●9月9日(日)
プログラム●主体的に活動し医療安全管理者を支援できる部署のリスクマネジャー育成を目的として、医療安全管理者の業務について学ぶことで部署のリスクマネジャーに期待される役割を理解し、リスクマネジャーとしての自分に何が期待されているのか、どのような支援が必要かなどについて、主体的に考える機会を提案。
定員●先着 60 名
参加費●会員 1 万 5000 円
申込締切●8 月 25 日(土)

3. 医療安全管理者養成研修 II

日時●① 9 月 27 日(木)～29 日(土)、② 10 月 26 日(金)～28 日(日)
プログラム●医療安全対策加算の施設基準の届出に必要な要件を満たす 40 時間・6 日間の研修。医療安全管理者として安全管理を実践するために、『医療安全管理者の業務指針』を読み解き、医療安全管理者の業務を理解し、その業務遂行に必要な医療安全の基本的知識を身につけることをねらいとする。
受講料●5 万円
申込締切●9 月 12 日(水)
定員●40 名

4. 医療安全教育担当者研修 I —— “戦略的” 研修企画のポイント

日時●11 月 2 日(金)
プログラム●医療安全に関する職員への教育・研修の実施は、医療安全管理者の業務のひとつでもあり、様々な取り組みが実施されている。本研修では、施設内で職員を対象として実施する研修企画のステップ、および“戦略的”な企画・運営のポイントを開示し、臨床や教育の場など、自施設で活用可能なヒントを提案する。
受講料●1 万 3000 円
申込締切●10 月 18 日(木)
定員●60 名
【以下共通】
会場●都道府県会館(東京都千代田区)
申し込み●Web サイト参照
問い合わせ●地域医療安全推進センター
〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-6-3 都道府県会館 15F 地域医療振興協会地域医療安全推進センター
TEL 03-5212-9152
E-mail iryou-anzen@jadecom.or.jp
URL <http://www.jadecom.or.jp/iryou->

anzen/

医療施設設備・機能強化セミナー — 一体改革における病院の 機能再編と後方支援機能・ 在宅支援機能

【東京会場】

日時●9月14日(金)

会場●新霞が関ビルLB階 全社協・灘尾ホール
(東京都千代田区)

【大阪会場】

日時●9月27日(木)

会場●毎日新聞ビルB1階 オーバルホール
(大阪府)

【以下共通】

プログラム●「一体改革における病院の機能再編と慢性期医療について(仮)」武久洋三(日本慢性期医療協会会長)／「医療貸付事業に関する融資制度のごあんない(仮)」福祉医療機構医療貸付部医療審査課／「急性期後から在宅療養まで支える当院の取り組みからみた後方支援・在宅支援のあり方(仮)」富家隆樹(医療法人社団富家会富家病院理事長・院長)／「在宅を支える当法人の経営戦略の取り組みについて(仮)」池端幸彦(医療法人池慶会池端病院理事長・院長)／「経営指導からみた療養型病床の現状について(仮)」独立行政法人福祉医療機構経営支援室

定員●各会場 200名(定員となり次第締切)
受講料●8000円

問い合わせ●顧客業務部経営支援室セミナー(担当:秀平・舩越)
TEL 03-3438-9932
FAX 03-3438-0371
E-mail wam_kikaku03@wam.go.jp

国際看護研究会 第15回学術集会

日時●9月15日(土)

会場●国際協力機構 JICA 横浜(横浜市中区)
テーマ●在日外国人と災害

プログラム●基調講演「在日外国人と災害」伊藤尚子(日本赤十字看護大学国際・災害看護学)／シンポジウム「異文化で体験する災害」／一般演題

参加費●会員(～8/24)2500円, (8/25～)3000円, その他(全期間)学生会員1500円, 非会員4000円, 非会員学生2000円 ※弁当代1000円(希望者のみ), 寄付金1口1000円(有志のみ)

問い合わせ●事務局

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-1-3 日本赤十字看護大学 国際・災害看護学内
E-mail 15.kokusaikango@gmail.com
URL http://kokusaikango2012.web.fc2.com/

日本ルーラルナースング学会 第7回学術集会

日時●9月15日(土)・16日(日)

会場●長野県看護大学(長野県駒ヶ根市)

テーマ●里山の「暮らしといのち」を支える看護

プログラム●講演「山間地域における認知症ケアと看とり——グループホームかあちゃん家の取り組み」戸谷美知子(長野市鬼無里グループホームかあちゃん家管理者)／シンポジウム「里山の「暮らしといのち」を支える看護活動」牧野鈴美(長野県立阿南病院副院長兼看護部長)・伊藤みほ子(下伊那赤十字訪問看護ステーション管理者)・小林理恵子(伊那市国保美和診療所看護師長)／交流集会「山間地域における生活習慣病予防・介護予防」「へき地の保健医療を担う看護職の確保と支援」「里山における遠隔医療／ケアの活用」／エキスカージン「長野県上伊那地域の歴史・文化、地元食材で作る郷土料理の体験」

参加費●(事前申込)会員3500円, 非会員4500円, 大学院生を除く学生1000円, (当日)会員4500円, 非会員5500円, 大学院生を除く学生1000円

問い合わせ●事務局
〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1694 長野県看護大学看護学科内
E-mail jasrun2012@nagano-nurs.ac.jp
URL http://www.jasrun.org/

第17回聖路加看護学会学術大会

日時●9月22日(土)

会場●聖路加看護大学(東京都中央区)

テーマ●連携の先に見えるもの——つなぐ看護を科学する

プログラム●大会長講演「超高齢社会に立ち向かう看護が持つべき技——退院支援から考える Transition Support」山田雅子(聖路加看護大学看護実践開発研究センターセンター長)／特別講演「緩和ケアをつなぐ革新的実践と研究について——大型研究プロジェクト(OPTIM)リーダーの経験から」森田達也(聖隷三方原病院緩和支援治療科部長)

／ランチョンセミナー1「持ち上げない、痛くない、こわくない看護の技」保田淳子(日本ノーリフト協会代表)・2「公開コンサルテーション——退院支援困難事例」宇都宮宏子(京都大学医学部附属病院地域医療ネットワーク事業部)／示説発表／市民公開シンポジウム「あなたはどんな医療と介護を選びますか——Transition Support(移行支援)のあり方を考える」

参加費●(～9/5)会員5000円, 非会員6000円, (9/5～)会員6000円, 非会員7000円, 大学院生3000円, 学部生は無料

【演題募集】

申込資格●共同発表者を含め学会員であること

発表形式●ポスター発表

申込方法●「演題申込」と「抄録原稿」を同時に提出 ※詳細はHP参照

問い合わせ●事務局

〒104-0045 東京都中央区築地3-8-5 聖路加看護大学2号館5階
E-mail slnr17@slcn.ac.jp
URL http://slnr17.umin.jp

第17回日本糖尿病教育・看護学会学術集会

日時●9月29日(土)・30日(日)

会場●国立京都国際会館(京都市左京区)

テーマ●糖尿病重症化予防

プログラム●会長講演／特別講演／教育講演／シンポジウム／特別企画／一般演題／交流集会／他

参加費●(当日)会員1万円, 非会員1万2000円, 大学院生を含む学生5000円

問い合わせ●運営準備室

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル18階 日本コンベンションサービス株式会社
TEL 03-3508-1214
FAX 03-3508-1302
E-mail 17jaden@convention.co.jp
URL http://www2.convention.co.jp/jaden17

東京女子医科大学看護学会 第8回学術集会

日時●10月6日(土)

会場●東京女子医科大学弥生記念講堂(東京都新宿区)

テーマ●探究しよう 看護のわざ——日々の実践から達人のわざまで

プログラム●会長講演「フィリピン先住民にみるケアの原点」下平唯子（東京女子医科大学看護学部成人看護学教授）／シンポジウム「達人から教わる看護のわざ」小山珠美（東名厚木病院 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会認定士）・川名典子（杏林大学医学部附属病院看護部 精神看護専門看護師）・近藤まゆみ（北里大学病院看護部 がん看護専門看護師）・山元由美子（東京女子医科大学看護学部基礎看護学教授）／サテライトセミナー「看護師のスキルアップに向けた教育を考える」／ミニ教育セミナー「日々の実践力を高めよう」／口演・示説／特別講演「TE-ARTE（て・あーて）のわざ」尾崎フサ子（佐久大学看護学部教授）／特別企画「在宅で健やかに生きるためのわざ」秋山正子（白十字訪問看護ステーション統括責任者）
参加費●（～8/31）会員 3000 円，非会員 4000 円，大学院生 2000 円，学生 1000 円，（当日）会員 4000 円，非会員 5000 円，大学
院生 3000 円

問い合わせ●事務局

〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学看護学部内

FAX 03-3341-8832

E-mail nrc-08.bk@twmu.ac.jp

URL <http://www.nrctwmujp/>

転倒予防医学研究会

「第 9 回研究集会」

日時●10 月 7 日（日）

会場●東京大学伊藤国際学術研究センター赤門総合研究棟（東京都文京区）

プログラム●特別講演「こころの転倒予防」岡本永司（護国寺第五十三世貫首）／パネルディスカッション「多職種連携による転倒予防」白石浩（今津赤十字病院リハビリテーション科技術課課長）・加藤真由美（金沢大学医薬保健学総合研究科教授）・小田真司（松山市民病院薬剤部）・笠井明美（愛広苑寺番館理学療法士）・佐藤浩二（由布院厚生年金病院先進リハケアセンターリハ部長）／特別プログラム（会員限定）「法律セミナー」望月浩一郎（虎ノ門協同法律事務所）／シンポジウム「地域包括ケアシステムにおける転倒予防」大淵修一（東京都健康長寿医療センター研究所研究副部長）・佐藤裕見子（明治国際医療大学看護学部地域看護学准教授）・堀川俊一（高知市役所健康福祉部健康推担当理事）・佐藤公治（名古屋第二赤十字病院整形外科・脊椎脊髄

外科部長）・亀井智子（聖路加看護大学老年看護学教授）／演題発表／他

定員●700 名

参加費●会員 6000 円，非会員 7000 円（いずれも昼食弁当付），学生 2000 円（当日受付のみ・弁当なし，要学生証提示）

申し込み●①参加者氏名（フリガナ），②所属先／資格，③平成 23 年度会員／非会員の別，④参加票送付先の〒住所（自宅／所属先を明記），TEL/FAX を明記し，事務局まで E-mail，FAX，ハガキのいずれかで。

問い合わせ●事務局

〒104-0045 東京都中央区築地 1-9-4 ちとせビル 3F

TEL 03-3544-6112

FAX 03-3544-6112

E-mail tentou@ellesnet.co.jp

URL <http://www.tentouyobou.jp/>

第 11 回日本健康行動科学学会 学術集会公開シンポジウム・講座

日時●10 月 7 日（日）

会場●東京工科大学 3 号館地下大講義室（東京都大田区）

メインテーマ●歩くことの意義を考える！

プログラム●公開シンポジウム「地域における高齢者の健康維持増進」上野まり（日本訪問看護団事業部長）・秋山正子（白十字訪問看護ステーション統括所長，暮らしの保健室室長）／公開講座「免疫反応は運動で活性化する？」垣内史堂（東邦大学名誉教授）

参加費●無料

詳細●ホームページ

問い合わせ●東邦大学医学部体育学研究室内（担当：只野ちがや）

TEL 03-3762-4151（内線）2593

E-mail 11kenko.kodo@med.toho-u.ac.jp

URL <http://www.lab.toho-u.ac.jp/med/jshbs11th/index.html>

地域社会振興財団 平成 24 年度研修会

第 36 回スタッフ育成・管理担当者研修会

日時●10 月 12 日（金）・13 日（土）

会場●自治医科大学地域医療情報研修センター（栃木県下野市）

テーマ●スタッフ育成のためのコーチングとティーチング

ねらい●看護管理者をはじめとする保健医療分野の管理者・教育担当者としてコーチング

とティーチングの実際を学び，スタッフ育成に向けて柔軟で効果的な関わりができる能力を身につける。研修者の所属部署における効果的なスタッフ指導について理解することができる。

プログラム●①スタッフ育成のためのコーチング／②スタッフ育成のためのティーチング対象●看護単位の責任者とその任にあたる者，および看護単位でスタッフ育成の任にあたる者。関連職種の単位の責任者とその任にあたる者，および関連職種の単位でスタッフ育成の任にあたる者

受講料●1 万 8000 円

申込期間●～9 月 21 日（金）

申込方法●専用の受講申込書（ホームページよりダウンロード可）を郵送。

問い合わせ●（財）地域社会振興財団事務局 研修課

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-160

TEL 0285-58-7436

FAX 0285-44-7839

E-mail fdc@jichi.ac.jp

URL <http://zcscs.or.jp/>

第 13 回日本リハビリテーション 心理研究会

日時●10 月 14 日（日）

会場●高崎健康福祉大学 1 号館（群馬県高崎市）

テーマ●退院をめぐる患者・家族・スタッフの心理——入院治療とケアの間で

プログラム●シンポジウム（医療側＝リハビリ医・MSW，在宅側＝ケアマネジャー・訪問看護師）／「テーマに関連したロールプレイング」コメンテーター丸田俊彦（米国メーヨークリニック名誉教授）

参加費●一般 7000 円，学生 3000 円

申し込み●ホームページより。

URL <http://rehapsycho.yaekumo.com/>

聖ルカ臨床教育研究セミナー 2012

日時●10 月 20 日（土）

会場●ホテルラフォーレ東京（東京都品川区）

プログラム●講演 福井次矢（演題調整中）／「Clinical research support by the PRIME Residency Program at UCSF in the US」Jeff Kohlwes (Director, PRIME Residency Program UCSF)／「Advancing CE and EBM in Malaysia-challenges, hopes and plans」Awg Bulgiba

Awg Mahmud (マラヤ大学グローバル戦略企画センター教授) / 「Clinical research support by the MGH and HSPH in the US」 Daniel E. Singer (ハーバード・メディカルスクール, 公衆衛生大学院教授) / 「Academic GPs in the UK - how do we train them and what do they do?」 David Mant (オックスフォード大学一般内科名誉教授) / Q & A (講演者全員)

※同時通訳あり, プログラム変更の場合あり。
受講料 ● 5000 円 (昼食込)

※在団賛助会員は無料

申し込み ● 専用申込用紙を FAX, または E-mail が電話にて。

問い合わせ ● 聖ルカ・ライフサイエンス研究所

〒 104-0044 東京都中央区明石町 10-1

TEL 03-5550-4101

FAX 03-5550-4114

E-mail sllsi@luke.or.jp

URL <http://sllsi.luke.or.jp/seminar.html>

第 5 回岩手看護学会学術集会

日時 ● 10 月 20 日 (土)

会場 ● 岩手県立大学 講堂 共通講義棟

テーマ ● 患者の生命 (いのち) と生活を支える日常ケア

プログラム ● 会長講演「患者の生命と生活を支える日常ケア」畠山なを子 (岩手県立磐井病院) / 特別講演「生命を支える—がん看護専門看護師の働きを通して」田村恵子 (淀川キリスト病院) / 学生のためのセミナー「災害時の日常ケアを支える」 / 一般演題発表 / 交流集会「日常ケアの卓越した技を問う」 / 「大学院での学びを実践に活かす」 / 編集委員会企画セミナー「投稿から発刊までの道のり」 / 学会企画「めんこいセミナー」中村令子 (東北福祉大学健康科学部)

参加費 ● (～ 9/14) 会員 3000 円, 非会員 4000 円, 学生 1000 円, (当日) 会員 4000 円, 非会員 5000 円, 学生 1000 円 ※懇親会費 6000 円別途 (事前申込)

申し込み ● オンライン登録 (10 月 12 日 12 時締切)

問い合わせ ● 事務局 (及川)

FAX 019-694-2292

E-mail m-oikawa@iwate-pu.ac.jp

平成 24 年度千葉大学看護学部公開講座

日時 ● 10 月 21 日 (日)

会場 ● 千葉大学看護学部 講義・実習室 (千葉市中央区)

テーマ ● 患者・家族の生活文化に即したエンド・オブ・ライフケア

講師 ● 長江弘子 (看護学研究科 エンドオブライフケア看護学特任教授)

対象 ● 保健・医療・福祉職

定員 ● 100 名

参加費 ● 2000 円

申し込み ● はがきに, 内定通知書送付先・氏名 (ふりがな)・性別・職業・勤務先・日中連絡が取れる連絡先の電話番号を記載のうえ送付, またはホームページよりダウンロードの専用申込用紙を FAX (受付期間 9 月 3 日 (月)～10 月 5 日 (金) 締切)。

問い合わせ ● 公開講座担当

〒 260-8672 千葉市中央区玄鼻 1-8-1

TEL 043-226-2453

FAX 043-226-2382

URL <http://www.n.chiba-u.jp/12koukai.pdf/>

第 14 回看護国際フォーラム

日時 ● 10 月 27 日 (土)

会場 ● 別府ビーコンプラザ 国際会議場

テーマ ● 「看とりの看護」

プログラム ● 「オーストラリアにおける看とり——現状と課題」マーガレット・オコナー, RN, DN, FRCNA, AIMM (モナシュ大学医療看護科学部教授, 緩和ケア研究チームリーダー) / 「韓国における看とり——現状と課題」クワン・ソ・ヒ, RN, PhD, CHPN, APRN, BC-PCM (慶北大学校看護大学教授, 韓国ホスピス協会事務局長) / 「日本における看とりのチーム医療——現状と課題」太田秀樹, MD, PhD (アスミス理事長, 全国在宅療養支援診療所連絡会事務局長) / 総合討論

参加費 ● 2000 円, 学生 500 円

定員 ● 300 名

※同時通訳用レシーバー 1000 円別途

申し込み ● 所属, 氏名, 同時通訳用レシーバー使用の有無を, E-mail または往復ハガキにて (往復ハガキの場合は返信用住所を記入のこと)。

応募締切 ● 10 月 12 日 (金) (定員に達し次第締切)

申し込み先 ● 看護国際フォーラム事務局

〒 870-1201 大分市大字廻栖野 2944-9 大分県立看護科学大学内

E-mail forum2012@oita-nhs.ac.jp

第 1 回日本 NP 協議会研究会

日時 ● 11 月 10 日 (土)

会場 ● 東京医療保健大学 国立病院機構キャンパス (東京都目黒区)

テーマ ● これからの特定看護師——実践現場で活躍する特定看護師たち

プログラム ● 「研究会開催にあたり」草間朋子 (日本 NP 協議会会長) / シンポジウム「NP 課程修了生の実践報告と管理者からの視点」NP 修了生と修了生が勤務する施設代表者 / ランチョンセミナー (先着 80 名)「NP が知っておきたい感染症の知識: 災害時の感染症に焦点を当てて」塚本容子 (北海道医療大学看護福祉学部) / 講演「看護師特定能力認定制度の動向と今後の発展」草間朋子

参加費 ● 2000 円 (当日払い)

定員 ● 先着 200 名

申し込み ● 件名に「日本 NP 協議会研究会参加申し込み」と明記し, 氏名, 所属先を FAX, または E-mail にて事務局 (東京医療保健大学内) まで。

FAX 03-5431-1481

E-mail higashigaoka-po@thcu.ac.jp

URL <http://www.jnpa.jp/>

平成 25 年度聖ルカ・ライフサイエンス研究所研究助成・海外派遣助成公募

助成対象 ●

1. 臨床疫学等に関する研究助成
 2. 臨床疫学の若手研究者の海外派遣助成
- 助成趣旨 ● 次に定める研究をさらに積極的に推進するために必要な援助助成を行なう。

①医学及び看護の臨床教育に関する研究, ②臨床疫学, 医療の質並びに病院管理に関する研究, ③予防医学に関する研究, ④看護に関する研究

助成金額 ● <研究助成> 1 件につき 50 万円から 100 万円まで, <海外派遣助成> 1 件につき 300 万円

公募締切 ● 10 月 15 日 (月) 当日消印有効

詳細 ● ホームページ参照

連絡先 ● 聖ルカ・ライフサイエンス研究所

〒 104-0044 東京都中央区明石町 10-1

TEL 03-5550-4101

FAX 03-5550-4114

E-mail sllsi@luke.or.jp

URL <http://sllsi.luke.or.jp/index.html>